

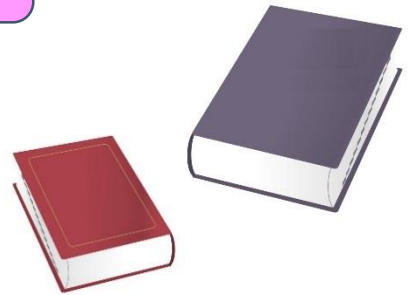
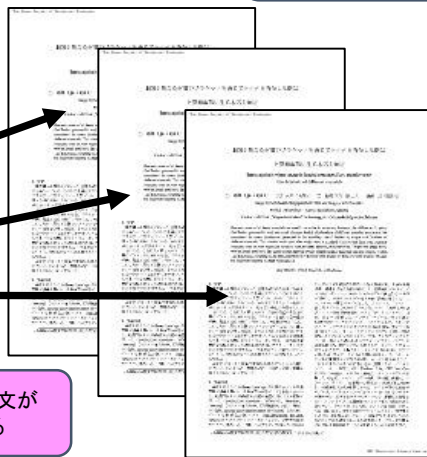
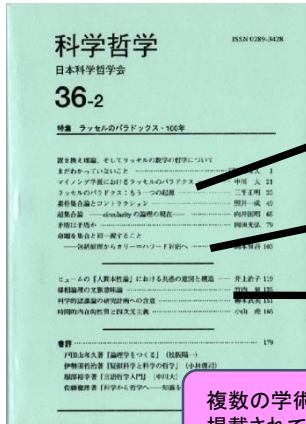
文献の種類と特徴

学術雑誌

雑誌論文

論文データベースでは論文のタイトル、著者名、巻号、ページ数が検索キーワードとなる

図書



- ・学術書
- ・教科書(講義テキスト)
- ・専門辞書・事典
- ・便覧 など

複数の学術論文が掲載されている

	雑誌	図書
刊行形態	定期的・継続的に終期を予定せずに刊行され、一連の巻号が付与されている。	単発的(非定期的)に出版される。「●●講座」「××体系」「△△全書」というシリーズで刊行されるものもある。
内容・情報	分量の少ない論文・記事を複数収録する。内容は先端的で、情報の速報性・適時性が重視される。	比較的まとまりのある分量を持つ。基本的な理論・知識を中心として記述されているため、刊行年が古いからといって利用価値が落ちるわけではない。

【雑誌論文の特徴】

- ・研究成果の主要な発表の場
- ・言語が主として英語で執筆される(国内雑誌でも英文誌の場合あり)
- ・電子化が進んでいる(電子ジャーナル)
 - …電子ジャーナルには有料のものと無料のものがある。
 - 熊本大学では、多くの電子ジャーナルを購読しており、熊本大学内のパソコンからアクセスするとダウンロードができる。
 - 昔の雑誌は電子化されていないものもあるので、紙媒体も探す必要がある。
- ・「査読」というシステムがある。
 - …その内容・記述が適切か、掲載するに値するかどうか審査される。

その他の情報源

【学位論文】

内容が詳しく、審査を受けている。最新の研究成果を発表した重要な資料。学位を授与した大学や、国立国会図書館(日本の博士論文に限る)等で保存されている。

【会議録】

学会や国際会議などで発表された論文集、予稿・概要集。雑誌の特集号や別冊として刊行されることもある。会議の場でだけ配布され、市販されないこともある。

【新聞】

全国紙、地方紙、業界紙などがある。同じピックでも新聞によって書き方が異なる。同じ新聞でも印刷の時間と最新記事の掲載とのタイミングにより配達地域によって情報の内容が異なることがある。データベース版、縮刷版、マイクロフィルム版も利用可能。

【テクニカル・レポート】

研究機関から発行される研究報告書。技術情報や研究開発成果を公開するもの。1冊ごとに固有のレポート・ナンバーが付与されている。

【統計】

国や地方の行政機関、民間団体、企業、研究者によって様々な目的や条件のもと実施され、調査結果がまとめられる。

これらの資料は、インターネットでの公開が進んでいるものの、完全ではないので注意。